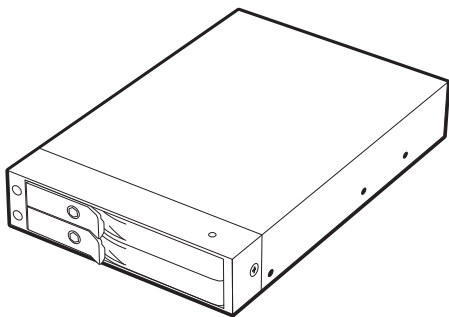


技あり！ 楽ラック 2.5RAID

CERS25R-BK2
取扱説明書



CENTURY

【はじめに】

このたびはCERS25R-BK2をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意】 <必ず守っていただくようお願いいたします>

- ・ご使用前に、安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
 - ・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解のうえ、守っていただくようお願いいたします。
- 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠ 警告

■煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。

点検および修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない

ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

■設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。

- ・台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- ・浴室、温泉、台所など、湿度の高いところ、雨や水しびれのかかるところ
- ・常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- ・火花があたるところや、高温の熱源、炎が近いところ
- ・有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- ・金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- ・機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
- ・食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- ・直射日光のあたるところ

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。けが等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

■はじめに	i
■安全上のご注意	i
■制限事項	1
■ご使用前に	1
■製品仕様	2
■製品内容	2
■各部の名称	2
■対応HDD/SSD	3
■対応機種・対応OS	3
■使用方法	5
■HDD/SSDの組み込み方法	7
■HDD/SSDの使用方法を設定する	11
■各モードの詳細	13
■PCケースへの組み込み方法	17
■領域の確保とフォーマット	19
・ Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合	19
・ Windows XPの場合	25
■ディスク障害発生時の対処方法	31
■トラブルシューティング	33
■FAQ	34
■サポートのご案内	35

【制限事項】

- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- ・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- ・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- ・本製品は2.5インチSATA HDD/SSD専用です（PATAは使えません）。また、CD-ROM等の動作はサポート外とさせていただきます。

【ご使用の前に】

- ・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- ・Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。
- ・Mac は Apple Inc. の登録商標です。
- ・記載の各商品、および製品、社名は各社の商標ならびに登録商標です。
- ・イラストと実際の商品とは異なる場合があります。
- ・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

【製品仕様】

- 商 品 名：技あり！楽ラック2.5 RAID
- 型 番：CERS25R-BK2
- ホストインターフェイス：SATA2.6規格準拠 1.5Gbps/3.0Gbps
ポートマルチプライヤ対応
- デバイスインターフェイス：SATA2.6規格準拠 1.5Gbps/3.0Gbps
- 接 続 形 態：3.5インチベイ内蔵
- 重 量：幅101mm×高さ25mm×奥行150mm（突起部を除く）
- 寸 法：約 220g
- 温 度 ・ 湿 度：温度5～35℃・湿度20～80%
（結露しないこと、接続するPCの動作範囲内であること）

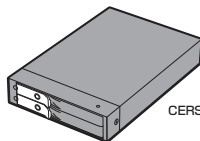
※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

【製品内容】

- CERS25R-BK本体
- ロックキー
- ベイ固定用ネジ
- 取扱説明書/保証書（本書）

※内蔵するHDD/SSDは別途ご用意ください。

※付属のロックキーは同製品すべて共通のものとなっており、セキュリティとしては非常に脆弱なものです。
十分ご注意ください。



CERS25R-BK2 本体



ベイ固定用ネジ



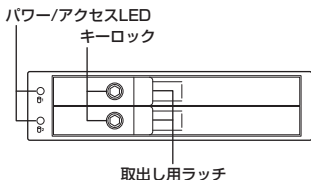
ロックキー



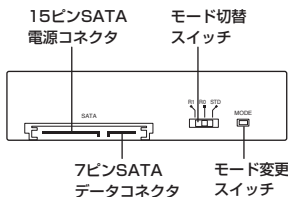
取扱説明書/保証書
（本書）

【各部の名称】

〈前面〉



〈背面〉



【対応HDD/SSD】

■HDD

SATA (シリアルATA) 仕様の2.5インチHDD (9.5mm厚のみ対応)

※PATA (パラレルATA/IDE) HDDは接続できません。

■SSD

SATA (シリアルATA) 仕様の2.5インチSSD (9.5mm厚のみ対応)

※5V駆動のものに限ります

※PATA (パラレルATA) 接続、ZIF接続、Micro SATA接続、SATA SlimLine接続、PCIe接続等のSSDは接続できません。

例：Asus EeePCの内蔵SSDは2.5インチSATAタイプではないので接続できません。

※本製品は2.5インチHDDの形状を基準に設計されておりますので、上部カバー等が通常の2.5インチHDDと異なる形状のSSDは接続できない場合があります。

※本製品にHDD/SSDは含まれておりません。

【対応機種・対応OS】

〈対応機種〉

SATAホストインターフェイスを搭載したPC/AT互換機。

※スタンダードモード (2台個別認識) で利用する場合は、SATAホストインターフェイスがポートマルチプライヤに対応している必要があります。

※3.5インチベイの空きが一つ必要です。

※3.5インチシャドウベイに接続することはできません。

〈対応OS〉

・ Windows 8 (64bit/32bit) 、 Windows 7 (64bit/32bit) 、
Windows Vista (32bit) 、 Windows XP (32bit)

※Windows95/Windows98/Windows98SE/Windows3.x/WindowsNT/WindowsMe/Windows2000では動作しません。

※WindowsUpdateでOSを最新の状態 (Service Pack含む) にしてご使用ください。
最新ではない環境での動作はサポート対象外となります。

※製品の性質上、すべての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

【使用方法】

本製品を使用するためには、以下のステップに沿って設定をする必要があります。

■ステップ1：本製品にHDD/SSDを組み込む (P.7)

本製品にHDD/SSDを組み込む手順を説明します。

HDD/SSDの出し入れについて

HDD/SSDを接続および取り出す場合、HDD/SSDにすり傷がつく場合がございます。これは製品の仕様上回避できません。あらかじめご了承ください。

SATA HDD/SSDの接続コネクタの耐久性について

SATA HDD/SSDの接続コネクタにはメーカーの推奨する脱着保証回数が設定されており、この回数を超えるとHDD/SSDとしての品質を保証できませんので、脱着する回数は必要最低限にてご使用ください。

■ステップ2：HDD/SSDの使用方法を設定する (P.11)

本製品はHDD/SSDを2台個別に使用するスタンダードモード (STD)、ストライピング (RO)、ミラーリング (R1) の3種類の設定があります。

本項では各モードの設定方法を説明します。

モードの変更について

モード (RAID 0/RAID 1/スタンダード) の変更は、本製品が通電している状態で本体背面のスイッチを操作する必要があります。

組み込む本体の構成によっては、組み込み後にスイッチの操作が困難になる場合がありますのでご注意ください。

■ステップ3：本製品をPCに組み込む (P.17)

本製品をPCに組み込む手順を説明します。

■ステップ4：HDD/SSDを利用するための準備をする (P.19)

新しいHDD/SSDを本機に接続した場合や、RAIDを構築した場合は領域の確保やフォーマットの処理が必要です。

・P.19【領域の確保とフォーマット】をご参照ください。

※すでにフォーマットしてあるHDD/SSDをスタンダードモードで使用する場合は、そのまま認識されます。

■ステップ5：ディスク障害発生時の対処方法 (P.31)

ディスクに障害が発生した際の各モードの挙動や対処方法を説明します。

【HDD/SSDの組み込み方法】

■HDD/SSD接続の前に



警告

・HDD/SSDを接続する前に、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
コンピュータの電源が入った状態で作業を行うと、感電等の事故や、故障の原因となります。

- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。
人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。
作業の前に、金属のフレーム等に触れて放電するか、静電気防止バンド等をお使いください。

■組み込みの前に

- ・HDD/SSDおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。
- ・HDD/SSD接続の際には、静電気に十分注意してください。人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になることがあります。作業の前に、金属のフレーム等に触れて放電するか、静電気防止バンド等をお使いください。



注意

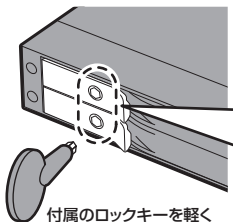
・フレームやHDD/SSDコネクタ、基板で手を切らないようにご注意ください。

※注意

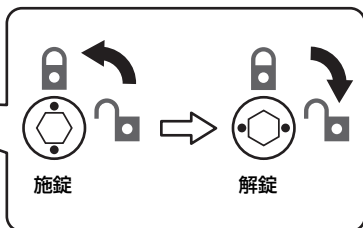
すでにデータの入っているHDD/SSDを接続する場合は、接続時の不測の事態に備えてデータのバックアップを必ず行ってください。

■ハードディスクの取り付け方

1. フロントドアのロックが解放状態にあることを確認する。



付属のロックキーを軽く
押し込んで回してください。



※注意

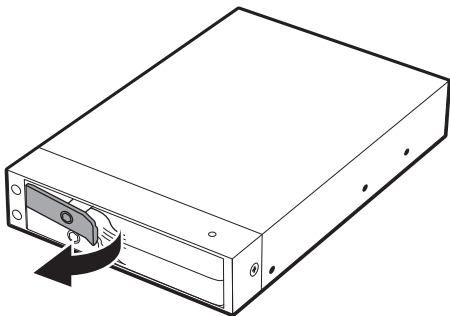
付属のロックキーは同製品すべて共通のものとなっており、セキュリティとしては非常に脆弱なものです。十分ご注意ください。



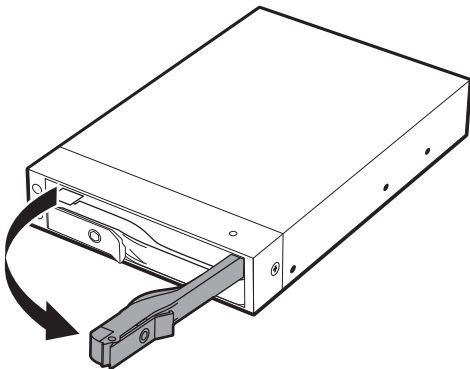
注意

・HDD/SSDやドア等、各金具の端で手を切らないようにご注意ください。

2. フロントドアのラッチを手前に引きます。



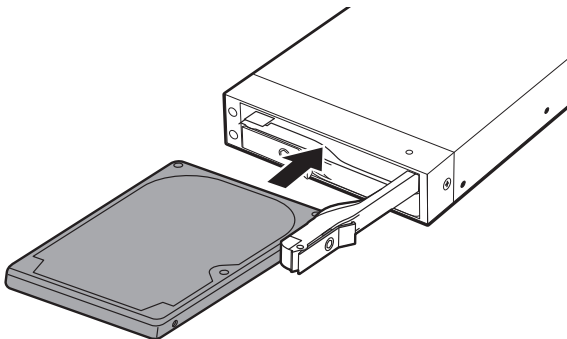
3. フロントドアを開けます。



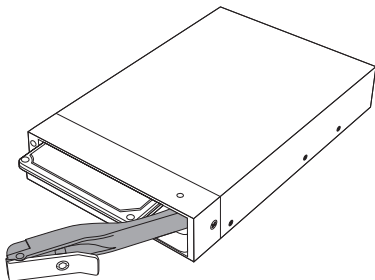
注意 ・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDD/SSDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【HDD/SSDの組み込み方法】

4. HDD/SSDを筐体内に入れ、軽く当たったところで止めます。



5. フロントドアの内側のカーブ状の突起より奥に差し込まれていることを確認したら、フロントドアを閉めます。

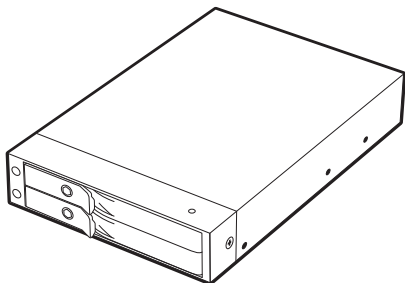


※無理にドアを閉めないでください。故障や破損の原因となります。



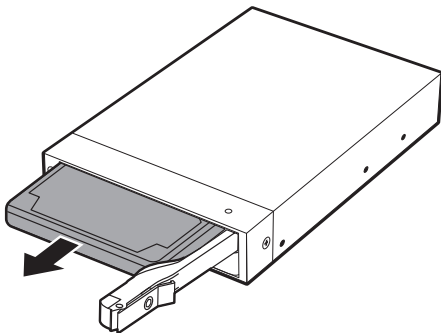
注意 ・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDD/SSDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

-
- 6.** 下段も同じようにセットして完成です。
長時間使用する場合には安全のためロックしてご使用ください。



●取り出す場合は？

取り付けたとき同様にドアを開けると、HDD/SSDがコネクタから外れて押し出されてきます。そのまま引いて取り出してください。



⚠ 注意 ・本製品のドアに手を挟んだり、本製品のフレームやHDD/SSDの基板面、コネクタ等で手を切らないよう十分ご注意ください。

【HDD/SSDの使用方法を設定する】

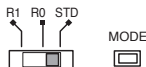
■ディスクの構成を設定する（モード設定）

本製品は背面にあるモード設定スイッチで、HDD/SSDを3種類の構成で利用することが可能です。

・STD：スタンダードモード

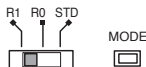
（※出荷時状態）

HDD/SSDをそれぞれ独立して使用します。
2台のディスクを個別のドライブで認識させたい場合や、すでにデータが入ったディスクを接続する際に適したモードです。



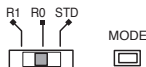
・R1：ミラーモード

2台のHDD/SSDに同時に同じ内容を書き込みます。
片方が壊れても片方のディスクでデータを保持するため、大事なデータを入れておくには最適ですが、使えるディスク容量は半分に なってしまいます。
本モードを使用する際は、ディスクフォーマットが必須ですので、データの入っているディスクを使用する場合は必ずバックアップを取っておくようお願いします。



・R0：ストライピングモード

2台のHDD/SSDにデータを分散して読み書きを行います。
分散して処理を行うため高速になりますが、片方のディスクが故障した際には、保存したすべてのデータが失われます。
本モードを使用する際は、ディスクのフォーマットが必須ですので、データの入っているディスクを使用する場合は必ずバックアップを取っておくようお願いします。



※各モードの詳細…P.13～15

各モードの説明は、P.13～15をご参照ください。

※データの保持には必ずバックアップと組み合わせて行うようお願いいたします。
本製品はデータの保護手段の一つを提供するだけで、必ずしもお客様のデータ保護を保証するものではありません。

■ディスク構成の設定変更方法

設定を変更する方法は次のとおり行います。

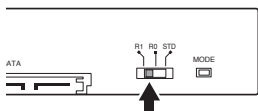
※注意

本製品はモードを設定・変更する際に、いちど通電させる必要があります。

そのため、本製品をPCに組み込んでしまうと、スイッチ位置の関係上、モードの設定・変更を行いくなくなってしまうため、モードの設定はPCに組み込む前に行うようお願いいたします。

また、本製品の出荷時の設定は、2台のHDD/SSDを個別に使用する「スタンダードモード(STD)」になっていますので、同設定で使用する場合は本項の設定は必要ありません。

1. モード設定スイッチを設定したいモードに変更します。

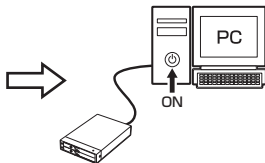
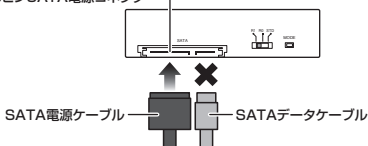


2. 本製品とPCのSATA電源ケーブルを接続し、PCの電源を投入します。

PCと接続する際は、必ず安定した場所に設置して行うようにしてください。

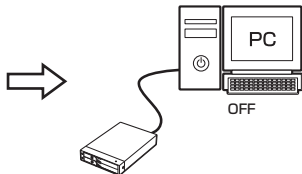
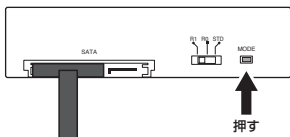
不安定な場所での作業は機器の破損やけがをまねく原因になります。

15ピンSATA電源コネクタ



3. モード変更スイッチを押します。

PCの電源が安全に切れる状態にあることを確認し(OS起動完了後等)、PCの電源をOFFにします。

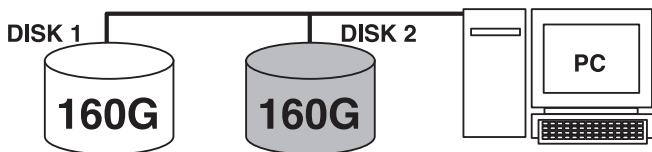


【各モードの詳細】

■スタンダードモード (STD)

HDD/SSDをそれぞれ独立して認識させるモードです。出荷時はこのモードに設定されています。

2台のディスクを個別のドライブで認識させたい場合や、すでにデータが入ったディスクを接続する際に適したモードです。



2つのSSD/HDDがそれぞれ認識されます。

注意！

スタンダードモードで使用する場合、お持ちのPCのSATAホストがポータブルマルチプライヤーに対応している必要があります。

ポータブルマルチプライヤーに対応していないSATAホストに接続した場合、上段1台のみの認識になりますのでご注意ください。

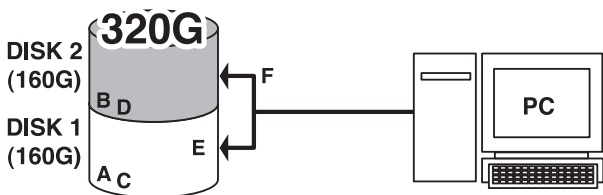
■ストライピングモード (R0)

- ・HDD/SSDを連結して分散処理を行うモードです
- ・分散処理を行う分、読み書きの速度は向上します。

ただし、双方のHDD/SSDが同じ容量か、異なる容量を使った場合小さい方の容量と同じ容量までしか使用できなくなります。

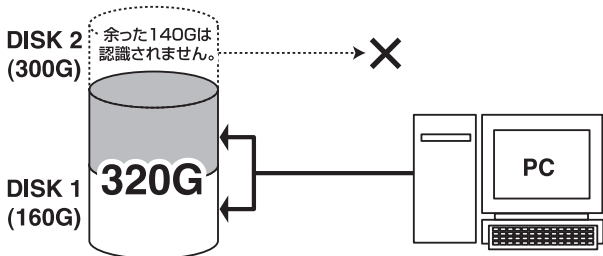
※二つのディスクに分散してデータを書き込む関係上、高速にはなりますが片方のディスクが故障した場合、保存したデータは失われます。

例1：160GB HDD + 160GB HDD = 320GBのストライピング HDD



1つのSSD/HDDとして認識されます。
高速でデータ転送します。

例2：160GB HDD + 300GB HDD = 320GBのストライピング HDD



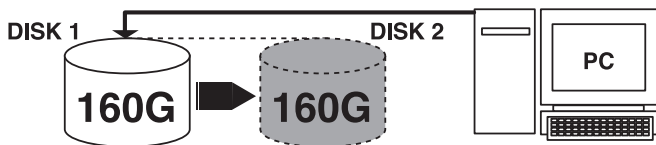
※例2の場合は140GB分の容量が無駄になります。余った140GB分は、ないものとして扱われますので、他の用途に使用する等はできません。

【各モードの詳細】

■ミラーモード (R1)

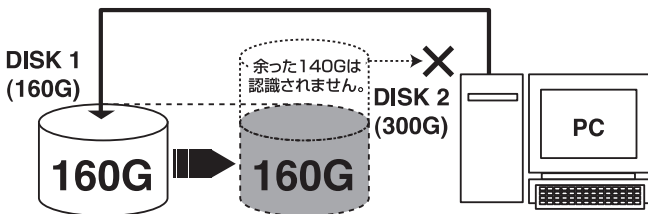
- それぞれのHDD/SSDに同じ内容を書き込んで、HDD/SSDの破損によるデータ消失に備えるモードです。
- ただし、双方のHDD/SSDが同じ容量か、異なる容量を使った場合小さい方の容量と同じ容量までしか使用できません。
また、2箇所と同じデータを書き込む仕様上、使える容量はさらに半分になります。

例1：160GB HDD + 160GB HDD = 160GBのミラー HDD



1つの160GBのSSD/HDDとして認識されます。
自動的にバックアップされていきます。

例2：160GB HDD + 300GB HDD = 160GBのミラー HDD



1つの160GBのSSD/HDDとして認識されます。
自動的にバックアップされていきます。

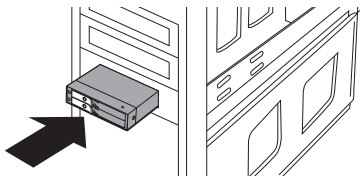
※例2の場合は140GB分の容量が無駄になります。余った140GB分は、ないものとして扱われますので、他の用途に使用する等はできません。

【PCケースへの組み込み方法】

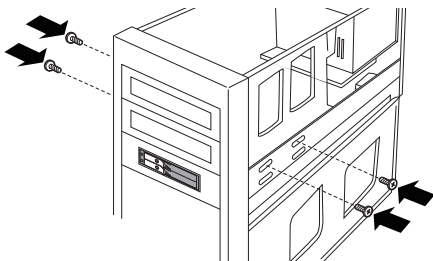
※注意

組み込みの際には、必ず PC の電源を切った状態で行ってください。

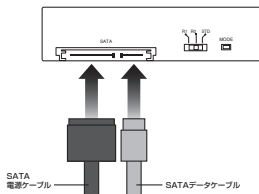
1. お使いになるPCケースの空いている3.5インチベイへ、本製品を図のように奥まで差し込んでください。



2. お使いになるPCケースのネジ穴スリットに合わせて、本製品へ付属のネジを4カ所取り付けます。



3. 図のようにケーブルを接続してください（ケーブルは付属していません）。



以上でPCケースへの組み込みは完了です。

【領域の確保とフォーマット】

注意：この説明では、HDDにパーティションを分割しない設定で領域を確保する操作を説明しています。

細かく分割する操作に関しては、Windowsのヘルプや参考書を参考にしてください。

※この手順どおりに処理を行うと、HDDのフォーマットを行ってHDD内に入っているデータを消去します。消したくないデータが入っている場合は、領域の確保とフォーマット処理は行わないようにしてください。

■Windows 8/Windows 7/Windows Vistaの場合

1.



□Windows 8

画面左下を右クリックし、「ディスク管理」を開きます。

その後は手順.3にお進みください。



□Windows 7

【スタート】 → 【コントロールパネル】 → 【表示方法：小さいアイコン*】 → 【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

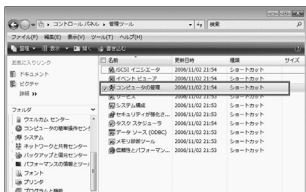


□Windows Vista

【スタート】 → 【コントロールパネル】 → 【クラシック表示※】 → 【管理ツール】を開きます。

※コントロールパネルを開いても【小さいアイコン】または、【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.



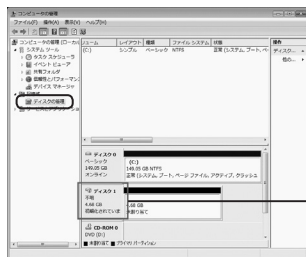
【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※このとき【ユーザーアカウント制御】ウィンドウが表示されます。

【続行】をクリックしてください。

続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。

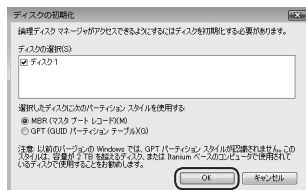
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

ディスクの初期化(I)

プロパティ(P)

ヘルプ(H)

4.



【ディスクの初期化】ウィンドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いのないかを確認して【OK】をクリックします。

※パーティションスタイルについて

MBR形式の場合、1パーティションサイズの上限が2TBとなってしまいます。

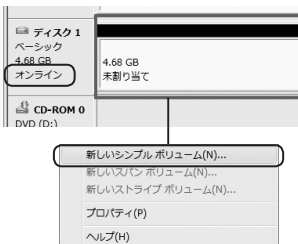
GPT形式は、Windows 2000やWindows XP等では読み書きすることができません。

また、ハードウェアの仕様によって、2TBを超える容量が扱えない場合もございます。

GPT形式であれば2TBを超える容量が扱えるわけではないことに注意してください。

【Windowsでの使用方法】

5.

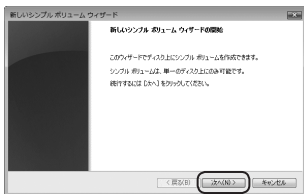


【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。

この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

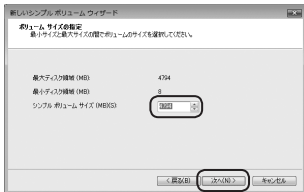
6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。

設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.



【ボリュームサイズの指定】が表示されます。

MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。

ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。

特に指定しなければ最大容量で設定されます。

設定したら【次へ】をクリックします。

8.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウィンドウが表示されます。

ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

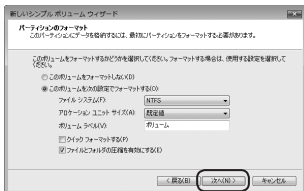
特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

【Windowsでの使用方法】

9.



【パーティションのフォーマット】ウィンドウが表示されます。

・ファイルシステム

NTFSを選択します。他のファイルシステムは使用しないでください。

・アロケーションユニットサイズ

パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。

特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値を選択します。

・ボリュームラベル

マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

・クイックフォーマットする

このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。

通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。

お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする

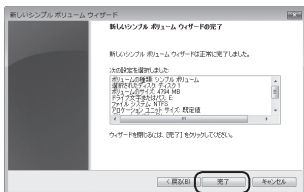
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。

通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。

一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

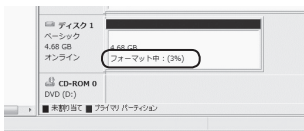
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウィンドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

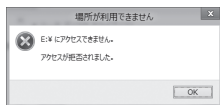
11.



これでフォーマットの作業は完了です。

ディスクの管理の容量表示ウィンドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。

フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。



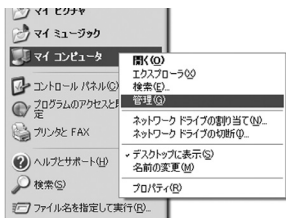
- ・フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- ・フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【Windowsでの使用方法】

■Windows XPの場合

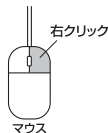
注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザーでログインして行ってください。

1.

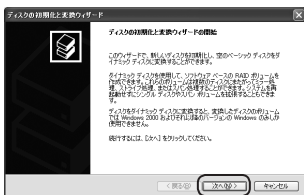


スタートメニューのマイ コンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。



2.



「コンピュータの管理」ウィンドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの開始」ウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。

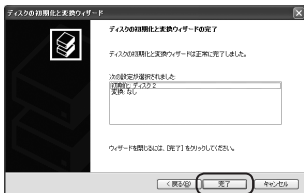
3.



「署名するディスクの選択」ウィンドウが表示されます。

署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.



「ディスクのアップグレードと署名ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。

「完了」をクリックしてウィンドウを閉じます。

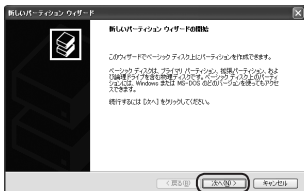
5.



次にパーティションの作成を行います。

「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成 (P) ..」を選択します。

6.

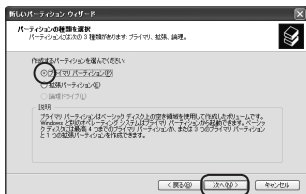


「パーティション作成ウィザード」が表示されます。

「次へ」をクリックします。

[Windowsでの使用方法]

7.



「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。

「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。

※ひとつのディスク上に5つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

8.

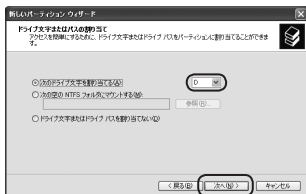


「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。

「次へ」をクリックします。

※既定値は最大容量(1パーティション)ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウィザード」をくり返して行うことで、複数のパーティションを作成することができます。

9.



【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。

ドライブ文字は、マイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。

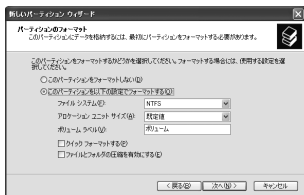
通常、Cが起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。

特に指定がなければ空いている割り当て番号のいちばん若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空のNTFSフォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブパスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。

こちらの機能を選択する場合は、Windowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウィンドウが表示されます。

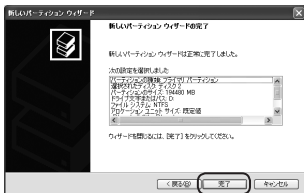
このウィンドウでフォーマット設定をすることができます。

※Windows XPでは32GBを越えるFAT32ボリュームをフォーマットすることができません。

- ・使用するファイルシステム
NTFSとFAT32が選択可能です。
- ・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
- ・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。
指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
- ・クイックフォーマットする
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。
通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない代わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。
- ・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windowsのファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納することにより、実際の容量よりも大きく使用することが可能ですが、仕様の的にファイルの読み書き速度の低下をまねくようです。
詳しくはお使いのWindowsの説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

すべて設定して「次へ」をクリックします。

11.



「パーティション作成ウィザードの完了」ウィンドウが表示されます。「完了」をクリックして閉じます。

12.



フォーマットが開始されます。「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。進行状況が100%になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

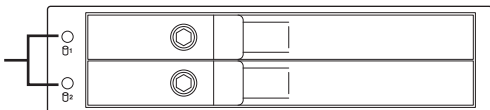


- ・フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
- ・フォーマット中は、PC、本製品の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windowsを終了しないでください。故障の原因となります。

【ディスク障害発生時の対処方法】

ディスクが故障したり、問題が発生した場合、問題の発生した段のLEDが消灯します。

故障した方の
LEDが消灯
します。



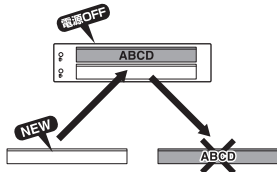
- ・スタンダードモードの場合→障害の発生したディスクにアクセスできなくなります。
- ・ミラーモードの場合→データは保持されているのでそのままディスクにアクセス可能です。
- ・ストライピングモードの場合→一切のアクセスができなくなります。

このような状態になった場合、すみやかに故障したHDD/SSDを入れ替えてください。

《スタンダードモード/ストライピングモードの復旧方法》

注意!!! ディスクの交換は PC の電源を切った状態で行ってください。

1. PCの電源を切り、故障したディスクを新しいディスクに入れ替えます。



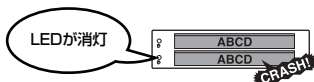
2. ディスク入れ替え後、LEDが点灯すれば正常に交換ができていますので、OS起動後、領域の確保とフォーマットを行ってください。

LEDが点灯

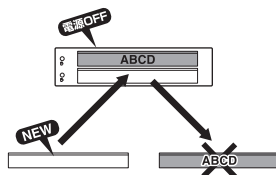


《ミラーモードの復旧方法（リビルド）》

1. 下段のHDDが故障した場合、下段のLEDが一定間隔で点滅します。



2. PCの電源を切り、下段のHDDを新しいHDDに入れ替えます。

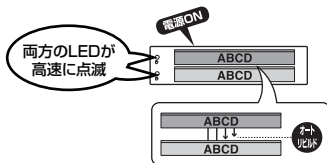


3. PCの電源を入れると同期処理（オートリビルド）が開始されます。

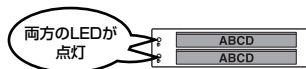
LEDは上段、下段とも高速に点滅します。

※同期処理中でもディスクアクセスは可能です。
※同期処理中にPCの再起動等で割り込みが発生すると、いったん同期処理が中断されますが、その後自動的に再開します。

※同期処理にかかる時間は内蔵したHDDによって異なりますが、一例として320GBのディスク2台でミラーモードに設定した場合、約3時間ほどかかります。



4. 同期処理が完了すると、両方のLEDが点灯します。
以上でHDDの交換作業は終了です。



■入れ替える場合は以下の点にご注意ください。

- ・モード切替をしたりモードスイッチを押さないでください！！
ケース側がRAID 1の状態を保持していますので、この段階でモード切替を行うと、同期処理が正常に行われないばかりか、データが失われる恐れがあります。
- ・交換するHDDは故障したHDDと同じか、容量の大きなものを使用してください。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

- ・ SATAケーブルおよび電源ケーブルが正しく接続されているか確認する。
- ・ 新規に接続したHDDやモード変更後は、フォーマットや領域確保をする必要があります。マニュアルの該当ページをご参照ください。
- ・ ストライピング（RAID 0）で使用している環境の場合、片方のディスクが故障するとドライブが認識されなくなります。この際は故障した方のディスクを交換し再度領域確保とフォーマットを行ってください。
詳しい手順は、P.31《スタンダードモード/ストライピングモードの復旧方法》をご確認ください。
- ・ 個別認識（スタンダードモード）で使用する場合、SATAホストがポートマルチプライヤーに対応していないと下段のHDDが認識されませんので、必ずポートマルチプライヤー対応のSATAホストでご使用ください。

【FAQ】

Q：RAIDとは何ですか？

A：Redundant Arrays of Inexpensive Disksの略で、複数のHDDを組み合わせてHDDの信頼性を確保する技術のことです。

Q：ハードウェアRAIDとソフトウェアRAIDというモノがありますが、この製品はどちらですか？

A：本製品はRAIDの構築に本体以外のソフトウェア等を必要としないハードウェアRAIDとなります。

Q：ハードウェアRAIDはソフトウェアRAIDよりも高速ですか？

A：環境や使用する機器によります。一概にハードウェアRAIDのほうが高速だとは言えません。ソフトウェアによる設定が必要ないこともハードウェアRAIDである利点となります。

Q：ストライピングモードを使用するとHDDの故障率が上がりますか？

A：上がりませんが、データ保護の観点からするとミラーリングやスタンダードモードよりも劣ります。

ストライピングモードは、複数のHDDを組み合わせて1台のHDDを構築するため、片方のHDDが故障すると、構成していたHDD内に収められている全データが損なわれることとなります。

Q：ミラーリングを行えばバックアップはしなくてもいいですか？

A：必要です。不測の事態（HDD2台同時故障や、ウイルス等のソフトウェア的なデータ破壊等）を備えるという意味で、ミラーリングはバックアップの代替にはなりません。データ保護を行うのであれば、ミラーリングモードでRAIDを構築した上で、保存したデータを別の装置や媒体にバックアップしてください。

Q：モード変更のDIPスイッチを変更したのに動作モードが変わりません。

A：動作モードを変更する場合、DIPスイッチの変更だけではなく、変更を行った後にモード設定スイッチを押下する必要があります。

P.12の手順をご参照の上、SATAデータケーブルを取り外した状態で設定を行ってください。

※電源を切った状態でモード変更の手順を行っても、反映されませんのでご注意ください。

【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市十^{とよ}余^{ふた}二^{おきな}翁^{はら}原240-9

【TEL】04-7142-7533

(平日 午前10時～午後5時まで)

【FAX】04-7142-7285

【Web】<http://www.century.co.jp>

【Mail】support@century.co.jp

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから
発送をお願いいたします。

アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を
お願いいたします。
どうぞよろしくお願いたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

【URL】<http://www.century.co.jp/que.html>



— 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました但、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.